

—豪日に架ける—

映画「愛の鉄道」上映会

—映画「愛の鉄道」製作から現在、そして未来に向かって—

戦後まもなく、反日感情の中で、「愛の鉄道」をオーストラリアから日本へ敷こうと立ち上がった人がいた。かつて日本軍の捕虜だった従軍司祭ライオネル・マースデンである。彼の計画に、多くの賛同者が現れ、やがてオーストラリアの若者たちが日本へ向かった。その中の1人、トニ・グリーン神父は、奈良市を中心に戦争未亡人や子どもたちへの援助など、豪日の和解と友好に生涯を捧げた。この映画は、彼の活動に共感し彼を支え続けた多くの人たちの「勇気」と「愛」に満ちた人々の知られざる行動を再現ドラマを交えて描いたドキュメンタリー映画である。

日時：令和5年10月14日（土）

13：30 開場

14：00 開演（監督講演・映画上映）

16：00 終演

会場：奈良市西部会館市民ホール

（奈良市学園南三丁目1-5

奈良市西部会館 3F）

参加費：無料 ※事前申込不要（当日参加OK!）

参加費
無料！
事前申込
不要！



監督
千葉 茂樹

映画監督/1933年福島県生まれ/日本大学芸術学部映画学科卒業

元日本映画学校長/元日本映画大学特任教授
テレビや映画、ドキュメンタリー作品など幅広く制作活動に取り組む。1978年、インドの修道女マザー・テレサの活動を追ったドキュメンタリー映画「マザー・テレサとその世界」では、キネマ旬報文化映画作品賞など、国内外の映画祭で高い評価を得て多くの賞を受賞した。1999年奈良市をはじめ多くの市民等の支援を受け、映画「豪日に架ける」 「愛の鉄道」を製作。現在も、日豪両国における様々な分野の交流促進や取り組みを推進する活動を続けている。

主催：映画「愛の鉄道」上映委員会

共催：奈良市